

豊田市長 太田 稔彦 様

上郷地域会議 提言書



行福寺のしだれ桜



畝部地区の田園

<第9期上郷地域会議委員>

会 長 神谷 昌直

副会長 高村 裕幸

委 員	江里口 あけみ	伊藤 身奈	光持 敏美	伊豫田 武
	近藤 吉春	近藤 繁	鈴木 光郎	岩月 小百合
	酒井 百合子	梅村 尊仁	有我 尚	中尾 里美
	奥田 聡子	竹下 右二	成田 誠	山本 一彦

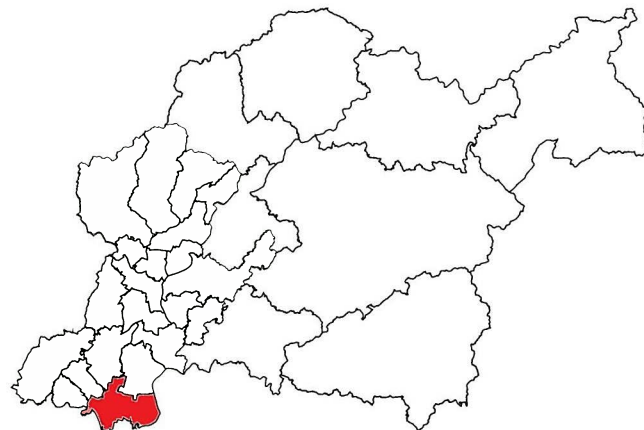
(補足) 成田委員及び山本委員の任期は令和5年3月末まで

伊豫田委員及び近藤吉春委員の任期は令和5年4月から

1 はじめに 上郷地区の概要

上郷地域は豊田市の南端に位置し、田園が広がり、その中にトヨタ自動車上郷工場を始めとする自動車関連企業が立地しています。東側を矢作川が流れ、岡崎市との市境になっています。また、中央を東西に伊勢湾岸自動車道が、南北に愛知環状鉄道が走っています。

人口は、約1万7千人で、交流館や各自治区において開催される各種行事には多くの地域住民が参加しており、コミュニティ活動の活発な地域であります。緑豊かで自然環境に恵まれており、その中で工業、商業、農業の調和が取れている地域であります。



【主な都市基盤や地域資源】

構 成	畝部西町、畝部東町、和会町、上郷町、大成町、配津町、広美町、福受町、榑塚西町、榑塚東町
教育施設	高嶺小学校、畝部小学校、上郷中学校、うねべこども園、上郷こども園、たかねこども園
公共施設等	柳川瀬公園、上郷コミュニティセンター、柳川瀬こどもつどいの広場、こども発達センターおひさま、南部休日救急内科診療所、南消防署、上郷交番 など
観光資源	榑塚味噌、行福寺しだれ桜、明治緑道三連水車、八柱神社巨大クスノキ
特産品	梨、シンビジウム、にんじん、いちじく、いちご、米、麦、大豆

2 上郷地域における課題解決に向けた豊田市への提言

上郷地域会議では、上郷地域をより住みよいまちにするために協議を重ねてまいりました。そのまとめとして、安心・安全なまちづくりとしての「交通安全」と「畝部地区の防災対策」について提言いたします。

(1) 交通安全について

<背景・課題>

上郷地区は、伊勢湾岸自動車道の豊田東インターチェンジや東名高速道路の上郷サービスエリアに接続する豊田上郷スマートインターチェンジがあり全国へつながる交通の要衝であります。そのため、地区内の主要道路の交通量は多く、特に、地区内を東西に横断する県道 239 号（県道岡崎豊明線）を始めとする主要道路では、朝夕の通勤通学時間帯に恒常的な渋滞が発生しております。渋滞回避のため、生活道路や農道を通り抜ける車両が多数見受けられ、児童生徒の通学時間帯とも重なり交通事故が懸念されます。また、県道と生活道路の交差点付近に設置されている街路樹は、見通しの悪さや歩道の根上がり*により、シニアカーを含めた歩行者の通行に支障をきたしており、自転車走行中には荷物が飛び落ちる等さまざまな問題も起こっております。

令和 2 年度地域自治システムアンケートの地域課題の認識においても「医療の充実」に次いで「交通安全対策の推進」が高い状態であり、地域住民の関心の高い課題であります。

* 樹根等による道路環境の悪化。

<目指す姿> 交通安全への取組豊田市 No.1 の地域を目指して

- ・交通弱者である子どもと高齢者の交通事故がゼロである地域。
- ・朝夕の渋滞が解消され、生活道路の安全が確保されている地域。
- ・地域と行政が一体となり、交通安全について共働し、安全で安心して暮らせる地域。

<市への提言>

- ・市道を中心とした生活道路におけるスピード抑止と交差点付近の交通安全施設の整備・充実。特に、通学路の危険箇所の解消を優先的に図ること。
- ・交通安全講座の講師派遣やとまってくれてありがとう運動のさらなる推進等、地域と市で連携した交通安全啓発の実施。
- ・上郷地域の交通網を一体的にとらえ、県に対して県道の渋滞解消対策や路面の再整備、通行に支障となる街路樹の撤去等を講じるような働きかけ。
- ・学校を通じた交通安全教育の継続した実施。

<地域の役割>

- ・交通危険箇所の市への情報提供及び地域内での共有をします。
- ・交通安全立哨、交通安全講座の実施、とまってくれてありがとう運動の推進等の交通安全啓発による歩行者、自転車・自動車ドライバーへの意識付けを推進します。
- ・小学校登下校の見守り活動による子どもの安全確保と事故防止に努めます。
- ・幹線道路に面した大型車両を所有する物流企業等に対して、倉庫、駐車場への入出を左折での入出をして頂けるように働きかけます。

(2) 畝部地区の防災対策について

畝部地区は、水害による浸水、大規模地震による液状化現象の懸念が高い地域であり、地域カルテ（2022年4月版）の「地域課題」や令和4年度に実施した上郷地域会議アンケートの「現在の上郷地域に必要な取り組み」では、防災に関する回答がともに上位となっております。特に、水害については、地区内に高層建築物が少なく、万が一の逃げ遅れの際に対応できる場所として、令和2年に畝部小学校に緊急避難用屋外階段が設置されましたが、未だ不安が残る状態であります。

浸水害の際には、いわゆる「水平避難」が法律等により基本的な方針であることは承知しているものの、畝部地区においても中心市街地で検討されているような「垂直避難」の考え方も織り交ぜた柔軟な対応について、ぜひ検討をお願いします。その中で、柳川瀬体育館の建替え時における高層化の計画、畝部地区内の既存施設（病院、工場等）管理者との緊急避難に関する協定の締結等地域資源を生かした方策や高層建築を前提とした大型施設誘致といった民間の力を活用する等あらゆる方向から模索していただきますようお願いいたします。